

IV 使用した調査票

平成 30 年度 (第 49 回) 県政世論調査

平成 30 年 8 月

調査委託者 富山県経営管理部広報課
調査受託者 株式会社ラックス

世論調査のお願いについて

県からの依頼で株式会社ラックスから調査にまいりました。

この調査は、県民のみなさんが日頃の生活の中で感じていらっしゃることや、県の仕事についてどのようなご意見、あるいはご要望を持っておられるかをお伺いして、今後の県の施策に役立てるのが目的です。

あなたを対象として選ばせていただいたのは、クジ引式による統計的な方法によったものです。この調査でお聞きしたことを、他の目的に使ったり、個人の名前を出したりすることは、絶対にありませんので、よろしくご協力をお願いいたします。

ご記入方法について

- (1) 調査対象者ご自身にご記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 調査員が訪問してから 1～2 日後にもう一度まいりますので、それまでにご記入ください。
- (3) ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- (4) 該当する回答の数字を○で囲んでください。

以上、よろしく申し上げます。

なお、ご不明な点などがございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ先：株式会社ラックス（担当 羽田野、大西）

☎ 076-422-7478

※調査全般については 富山県経営管理部広報課
県民の声係まで
TEL 076-444-8909
FAX 076-444-3478
メール akoho@pref.toyama.lg.jp

【最初に、県政全般についてお聞きします】

＜政策の満足度について＞

問1 あなたは県の政策に対してどの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかという ええ	どちらともい えない	どちらかとい ええ	不満である

＜活力とやま＞

1	景気対策	1	2	3	4	5
2	新たな成長産業の育成	1	2	3	4	5
3	産学官連携によるものづくり産業の振興	1	2	3	4	5
4	未来を拓く起業チャレンジへの支援	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	1	2	3	4	5
6	中小企業の振興	1	2	3	4	5
7	デザインの振興と活用	1	2	3	4	5
8	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1	2	3	4	5
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	1	2	3	4	5
10	雇用の確保と人材の育成	1	2	3	4	5
11	農業生産の振興	1	2	3	4	5
12	森林の整備と林業の振興	1	2	3	4	5
13	水産業の振興	1	2	3	4	5
14	北陸新幹線の整備促進	1	2	3	4	5
15	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	1	2	3	4	5
16	利便性の高い道路ネットワークの整備	1	2	3	4	5
17	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	1	2	3	4	5
18	情報通信基盤の充実と活用	1	2	3	4	5
19	選ばれ続ける観光地づくり	1	2	3	4	5
20	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
21	中心市街地の賑わいの創出	1	2	3	4	5
22	国際観光の推進	1	2	3	4	5
23	富山のブランド力アップ	1	2	3	4	5

1 2 3 4 5
 満足している どちらかといえ
 ば 満足している
 どちらともい
 えない 不
 満である
 どちらかとい
 え ば 不
 満である

<未来とやま>

24	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	1	2	3	4	5
25	子育て支援	1	2	3	4	5
26	家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	1	2	3	4	5
27	子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	1	2	3	4	5
28	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	1	2	3	4	5
29	大学教育・学術研究・科学技術の振興	1	2	3	4	5
30	生涯をとおした学びの推進	1	2	3	4	5
31	ふるさとを学び楽しむ環境づくり	1	2	3	4	5
32	芸術文化の振興	1	2	3	4	5
33	スポーツの振興	1	2	3	4	5
34	社会貢献活動の推進	1	2	3	4	5
35	若者の自立促進とチャレンジ支援	1	2	3	4	5
36	男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
37	元気な高齢者の活躍の場の拡大	1	2	3	4	5
38	人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	1	2	3	4	5
39	国際社会における地域づくり・人づくり	1	2	3	4	5
40	交流人口の拡大、定住・半定住の促進	1	2	3	4	5
41	自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	1	2	3	4	5
42	地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	1	2	3	4	5
43	農山漁村の活性化	1	2	3	4	5
44	豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	1	2	3	4	5

<安心とやま>

45	地域総合福祉の推進	1	2	3	4	5
46	医療提供体制の充実	1	2	3	4	5
47	健康づくりと疾病対策の推進	1	2	3	4	5
48	高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5
49	障害者福祉の充実	1	2	3	4	5
50	食の安全確保と地産地消・食育の推進	1	2	3	4	5
51	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	1	2	3	4	5
52	自然環境の保全	1	2	3	4	5
53	生活環境の保全	1	2	3	4	5
54	水資源の保全と活用	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともい えない	どちらかとい えば不満である	不満である
55 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	1	2	3	4	5
56 県土保全の推進	1	2	3	4	5
57 防災・危機管理体制の充実	1	2	3	4	5
58 地震防災対策の充実	1	2	3	4	5
59 雪に強いまちづくり	1	2	3	4	5
60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	1	2	3	4	5
61 生活交通の確保	1	2	3	4	5
62 住環境の整備	1	2	3	4	5
63 消費生活の安全の確保	1	2	3	4	5

<人づくり>

64 子ども 富山県や日本を担う子どもの育成	1	2	3	4	5
65 若者 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進	1	2	3	4	5
66 女性 女性の活躍とチャレンジへの支援	1	2	3	4	5
67 働き盛り すべての人が活躍できる環境づくり	1	2	3	4	5
68 高齢者 エイジレス社会の実現	1	2	3	4	5

<県政運営>

69 オープンで分かりやすい県政	1	2	3	4	5
70 県民の自立と幸せを重視する県政	1	2	3	4	5
71 スピード重視の県政	1	2	3	4	5
72 現場重視で効率的な県政	1	2	3	4	5
73 市町村、地域の自立と支援	1	2	3	4	5
74 「とやまから日本を変える」改革と創造	1	2	3	4	5

<県政への要望について>

問2 問1の項目の1番～68番のうち（※69番～74番の<県政運営>は除きます）、いま、あなたがもっと力を入れてほしいと思っている県の政策はどれですか。
5つ以内で選んでください。（下記の枠内に番号を記載してください。）

--	--	--	--	--

【次に、個別の施策についてお聞きします】

＜自転車の活用について＞

問3 あなたは、どんな自転車をお持ちですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 一般車・シティサイクル（ママチャリなど）
2. 電動アシスト車
3. 折り畳み自転車・小径車
4. クロスバイク ※1
5. ロードバイク ※2
6. マウンテンバイク ※3
7. その他
8. 持っていない

- ※1 クロスバイク・・・ロードバイクとマウンテンバイクを組み合わせた自転車であり、クッション性を意識したタイヤとなっている。
- ※2 ロードバイク・・・主に舗装道路を早く走るための自転車であり、ドロップハンドルで細めのタイヤとなっている。
- ※3 マウンテンバイク・・・野山や林道を走るのに適した自転車であり、頑丈なフレームで太めのタイヤとなっている。

問4 あなたは、自転車を利用した際に発生した交通事故などによる損害を補償するための保険又は共済に加入していますか。

1. 加入している
2. 加入を検討している
3. 加入していない

問5 あなたは、普段どのくらいの頻度で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 週に5日以上
2. 週に3～4日程度
3. 週に1～2日程度
4. 月に4日未満
5. ほとんど利用していない
6. その他（具体的に

)

問6 あなたは、どのような目的で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 通勤
2. 通学
3. 職場での業務として利用
4. 買い物など日常の用事
5. 子どもの送迎
6. 余暇・健康増進のため
7. その他（具体的に)

問7 あなたは、どのような理由で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 手軽に使える、早く移動できる
2. ガソリン代や電車代がかからない
3. 健康に良い、運動不足解消
4. 環境にやさしい
5. クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない
6. 走っていて気持ちが良い、ストレス解消
7. かっこいい、おしゃれ
8. 利用に適した公共交通機関がないため
9. その他（具体的に)

問8 今後、自転車の活用を推進するために必要な行政の取組みとして当てはまると思うものを次の中から3つまで選んでください。

1. サイクリング関連イベントの誘致・開催
2. サイクリングコースを活用した観光プロモーション
3. 専用のサイクリングコース等の走行環境の充実
4. 自転車を利用した健康づくりの啓発
5. 自転車通勤の促進
6. 自転車専用レーンなどの自転車走行スペースの確保
7. シェアサイクル、レンタサイクルの普及
8. 駅前や公共施設における駐輪場の整備
9. 自転車の交通ルールの周知徹底、交通事故防止・安全意識の啓発
10. その他（具体的に)

<働き方改革について>

問9 人口減少や少子高齢化の急速な進展により、労働力人口が減少する中、労働生産性の向上を図りながら、誰もが働きやすい職場環境づくりの推進が求められています。また、国では、時間外労働上限規制の導入などを盛り込んだ働き方改革関連法が成立しました。

あなたは、「働き方改革」を実現するためには、具体的にどのようなことに力を入れるべきだとお考えですか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 長時間労働の是正（時間外労働の縮減、勤務間インターバル制度（※）の導入など）
2. 休暇の取得促進（時間単位有給休暇の拡大、有給休暇取得促進など）
3. 育児・介護支援（休暇・休業制度の充実、取得奨励など）
4. 仕事の進め方の見直し（業務プロセス改善、IT ツール導入など）
5. 働く場所を選べる働き方（在宅勤務、テレワークなど）
6. 働く時間を選べる働き方（フレックス、短時間勤務など）
7. 職場の理解（休暇・休業を取得する際の上司や同僚の協力体制など）
8. 女性の活躍推進（女性管理職登用、再就職支援など）
9. 高齢者の就業促進（雇用推進、定年の引き上げなど）
10. その他（具体的に _____)

※勤務間インターバル制度

勤務終了後、次の勤務までに一定時間以上の「休息時間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保するもの。

<富山きときと空港の利用促進について>

問 10 東京や首都圏方面に出かける場合の交通手段は何を利用されますか。当てはまるものに○をつけてください。

※東京や首都圏に行ったことのない方については、仮に自分が行くとしたら何を利用するかお答えください。

1. 主に飛行機を利用
2. 主に J R（新幹線・在来線特急）を利用
3. 飛行機と J R をほぼ半々で利用
4. そのほかの交通機関（高速バス・自家用車など）を利用

問 11 富山きときと空港の活性化のためには、「富山-羽田便」をはじめ、空港の利用者を増やす必要がありますが、どのようなサービスがあれば富山きときと空港を利用しますか。（飛行機に乗る場合だけでなく、空港を来訪する場合も含みます。）希望するサービスを3つ以内で選んでください。

1. 富山-羽田便の利便性向上
（新幹線と同等の運賃維持、利用しやすいダイヤ設定、冬季就航率の向上等）
2. 羽田・札幌以外の国内路線の充実（西日本方面の開設等）
3. 国際航空路線の増便又は新規路線の（近距離）の開設
（台北便の増便、ソウル便の通年化等）
4. 空港内の飲食施設やお土産店などの商業施設の充実（営業時間の延長等）
5. 空港内のラウンジやビジネス機能、外貨両替機能の充実
6. 公共交通による空港のアクセス利便性の向上
（バスの運行頻度向上、乗合タクシーの導入、観光地へのバス運行等）
7. 有料駐車場の無料化など駐車場のサービス改善
8. 空港での魅力あるイベントの充実
9. 飛行機に関する体験会等の実施（機体見学会、飛行機しくみ講座等）
10. 空港周辺への商業施設（飲食店、お土産店等）の誘致
11. マラソンやサイクリング愛好家の休憩ステーション機能の設置
12. 空港施設内での産直施設「空の駅」等の整備
13. 航空会社によるサービスの向上（機内 Wi-Fi の整備、機内食の改善）
14. その他（具体的に _____ ）
15. 上記に該当するものがない

※富山きときと空港からの就航便（H30.6 現在）

国内路線 羽田（4 便／日） 札幌（1 便／日）

国際路線 台北（4 便／週） 上海（2 便／週） 大連（2 便／週） ソウル（3 便／週）

<富山県ホームページ等について>

問 12 富山県の動きや県が行っている施策、お知らせなどの情報を何から得ることが多いですか。次の中から該当するものをいくつでも選んでください。

1. 県広報紙「県広報とやま」
2. 新聞広報「県からのお知らせ」
3. フリーペーパー等広報（02、minto、Takt）「県からのお知らせ」
4. 民放3局でのテレビ番組
「こんにちは富山県です」、「元気とやま みんなのクイズ!」、
「とやまメモナイト」
5. 県内ケーブルテレビ9局での県政番組
「マナブ君とヤチャ博士のピックアップとやま」、「県からのお知らせ」
6. 県提供のラジオ番組
「県からのお知らせ」、「知事の県政ざっくばらん」など
7. 上記2～6以外の、一般の新聞記事、テレビ・ラジオのニュースや番組など
8. パソコンやスマートフォンで見る県のホームページ
9. 県広報課ツイッター
10. 携帯電話で見る県のホームページ「モバイル県庁」
11. ポスター、ちらし、パンフレット
12. その他（具体的に _____)

問 13-1 富山県のホームページを見る場合は、主に何でご覧になりたいですか。次の中から該当するものをいくつでも選んでください。

1. パソコン
2. タブレット
3. スマートフォン
4. 携帯電話（スマートフォン以外）
5. その他
6. インターネットを利用しない

※問 13-1 で、「6. インターネットを利用しない」を選んだ方は、
以下の問 13-2～問 13-6 は回答不要です。

問 13-2 富山県のホームページは見やすいですか。次の中から1つお選びください。

1. 見やすい
2. まあまあ見やすい
3. やや見づらい（理由： _____)
4. 見づらい（理由： _____)

問 13-3 富山県のホームページは、知りたい情報にすぐたどりつけますか。次の中から1つお選びください。

1. すぐたどりつける
2. まあまあたどりつける
3. たどりつけないことが多い (理由:)
4. いつもたどりつけない (理由:)

問 13-4 富山県のホームページの、各ページの情報量はいかがですか。次の中から1つお選びください。

1. 適当である
2. 多すぎる (長すぎる)
3. もっと詳しくしてほしい
4. わからない

問 13-5 富山県のホームページで、今後充実してほしい情報は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。

1. 健康・福祉・医療の情報
2. 子育て関連の情報
3. 障害者向け情報
4. スポーツ関連の情報
5. 文化・学びの情報
6. 事業者向け情報
7. 知事関連情報
8. 災害関連情報
9. 救急医療情報
10. イベント情報
11. 県の公共施設案内
12. 教育委員会に関連する情報
13. 警察本部に関連する情報
14. 県議会に関連する情報
15. 職員採用情報
16. 就職・Uターン情報
17. 観光情報
18. パブリックコメント・アンケート
19. 県の紹介
20. その他 (具体的に)

問 13-6 富山県のホームページで、今後充実してほしい機能は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。

1. スマートフォン用表示
2. 災害発生時の特設ページ
3. 地図・ナビゲーション
4. 動画のリアルタイム配信
5. その他（具体的に)

< 3 Rの取組みについて >

県では、平成 30 年 10 月に本県で「3 R 推進全国大会」が開催されることから、3 Rのさらなる促進に取り組んでおり、小型家電については、市町村での回収だけでなく、家電量販店においても回収する仕組みを立ち上げ、リサイクルを進めているところです。

※ 3 Rとは、Reduce（リデュース：ごみを減らすこと）、Reuse（リユース：繰り返し使うこと）、Recycle（リサイクル：資源として再び利用すること）の3つのRの総称です。

問 14 あなたは、小売店（スーパー、ホームセンター、家電量販店など）でどのような資源物が回収されたら、利用したいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. ペットボトル、食品トレイ、紙パック
2. 透明トレイ（たまごパックなど）
3. アルミ缶、ガラスびん
4. 廃食用油（天ぷら油など）
5. 小型家電、乾電池
6. 古紙（新聞紙、雑誌）、段ボール
7. その他（具体的に)
8. 特にない

<障害者福祉の充実について>

問 15 障害のある人が、住み慣れた地域で安心して生活していくためには、皆さんとの日常的なふれあいや交流の促進が必要です。

あなたはこれまでに障害のある人に対し、どのような交流や手助けをしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

(「障害のある人」とは、身体障害、知的障害又は精神障害がある方に限らず、発達障害(※1)、高次脳機能障害(※2)などの障害のある方や難病の方を含みます。)

また、施設(特別養護老人ホーム等)に入所しておられる高齢者で障害のある方も念頭に置いてください。)

※1 「発達障害」

自閉症、アスペルガー症候群等を含む広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳に何らかの機能障害があり、認知や言語、運動、社会的な能力や技術の獲得にかたよりや遅れがある状態をいう。

※2 「高次脳機能障害」

頭部外傷、脳血管障害等による脳の損傷の後遺症として生じる、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害。これに起因して、日常生活・社会生活への適応が困難となる場合がある。

1. 電車やバスなどで席をゆずった
2. 電車やバスなどの乗降を手伝った
3. 横断歩道や階段で手助けをした
4. 店舗等への出入を手伝った
5. 車椅子を押した
6. レクリエーション活動を一緒にした
7. 家事や買い物などの身のまわりの世話をした
8. 相談相手、話相手になった
9. 手話や点訳などのボランティア活動を行った
10. 募金などの寄付を行った
11. 福祉施設等で製造した商品を購入した
12. その他(具体的に)
13. したことがない

<里親制度について>

問 16-1 さまざまな事情で実親の養育が受けられない子どもたちがいますが、あなたはこのような子どもたちを家庭的な環境で養育する「里親」になってみたいですか。

1. 里親になってみたい
2. どちらかというとき里親になってみたい
3. どちらかというとき里親になりたくない
4. 里親になりたくない
5. どちらとも言えない

問 16-2 問 16-1で「1. 里親になってみたい」、「2. どちらかというとき里親になってみたい」と回答された方にお聞きします。里親になってみたい理由として、あてはまるものすべてを選んでください。

1. 子どもが好きだから
2. 子育てをしたいから
3. 実子がないから
4. 家庭を必要とする子どもを助けたいから
5. 社会貢献をしたいから
6. 経済的に余裕があるから
7. 時間に余裕ができたから
8. 実子の子育てが終わったから
9. 補助金が出るから
10. 自分にもできそうと思ったから
11. その他（具体的に)

問 16-3 問 16-1で「3. どちらかというとき里親になりたくない」、「4. 里親になりたくない」、「5. どちらとも言えない」と回答された方にお聞きします。里親になってみたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 興味がないから
2. 子どもを育てたいと思わないから
3. 漠然と大変そうだから
4. 里親制度についてよく知らないから
5. 専門的な知識やスキルが必要そうだから
6. どこに相談すればよいのかわからないから
7. 行政（児童相談所など）に問い合わせづらいから
8. 行政（児童相談所など）とのやりとりが面倒だから
9. 支援してくれる組織や体制がないと思うから
10. 経済的負担が心配だから
11. 仕事や生活への負担が心配だから
12. 時間がないから・忙しいから
13. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから
14. 実子の子育てが終わっていないから
15. 長期間、束縛されそうだから
16. 続けられる自信がないから
17. 子ども的人生を左右するので責任が重いから
18. 実子との関係が悪くなりそうだから
19. 近所・周囲の目があるから
20. 他人の子どもを育てることに抵抗があるから
21. 自分よりももっと向いている人がやれば良いから
22. 施設に任せたほうが良いから
23. 自分の身の回りには助けを必要としている子どもがいないから
24. 家が狭いから
25. 里親の登録条件に合わないから
26. 家族・親戚が反対するから
27. その他（具体的に)

<食品ロスの削減について>

平成 28 年 5 月に本県において開催された G 7 環境大臣会合において、食品や化石燃料を含むあらゆる資源の循環的な利用や使用量の削減を目指す「富山物質循環フレームワーク」が採択され、その中で、食品ロス・食品廃棄物(※)の削減促進、効果的なリサイクルなどを着実に実施することとされました。

このため、県でも、平成 29 年 5 月に富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議を設置し、県民、事業者や消費者の関係団体などが一丸となって、食品ロス・食品廃棄物の削減に取り組む運動を展開しているところです。

食品ロスに関して、以下の質問にお答えください。

問 17 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。次の中からあてはまるものを 1 つ選んでください。

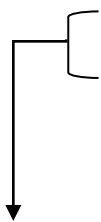
1. よく知っていた
2. ある程度知っていた
3. あまり知らなかった
4. ほとんど・全く知らなかった

※「食品ロス」とは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものです。また、「食品廃棄物」とは、食品ロスに加え、魚の骨や野菜の皮、調理油など、通常は食べられない部分も含んだものです。

日本では年間約 2,842 万トンの食品廃棄物等が排出されており、そのうち食品ロスは、年間約 646 万トンと試算(本県では食品廃棄物は年間約 17.0 万トン、うち食品ロスは 4.3 万トンと試算)され、資源・環境等の観点から大きな問題となっています。

<犯罪の予防について>

問 19-1 あなたは、自分や家族が、犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じる
ことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- 
1. よくある
 2. たまにある
 3. ほとんどない
 4. まったくない

問 19-2 問 19-1で「1. よくある」「2. たまにある」と回答された方にお聞き
します。どのような犯罪に不安を感じますか。次の中から5つ以内で選んで
ください。

1. 殺人、強盗、放火等の凶悪犯罪
2. 暴行、傷害等の暴力的犯罪
3. 通り魔的犯罪
4. 空き巣等の住宅に侵入する犯罪
5. 自転車盗、車上ねらい、器物損壊、落書き等の街頭での犯罪
6. 不審な声かけ事案やチカン等のわいせつ事案
7. つきまとい、ストーカー、DV事案
8. 振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺
9. 偽造クレジットカード等を利用したカード犯罪
10. ヤミ金融、悪質訪問販売業者等による悪質商法事案
11. インターネット（パソコン、スマートフォン）を利用したワンクリック
詐欺やオークション詐欺等の経済犯罪
12. インターネットを利用した（SNS等を介した）児童買春やリベンジポ
ルノ等の性的犯罪
13. 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物犯罪
14. 拳銃を使用した犯罪
15. ごみの不法投棄等の環境犯罪
16. 人が集まる場所やイベントでのテロ等の無差別殺傷事案
17. 子どもに対する犯罪
18. 女性に対する犯罪
19. 高齢者に対する犯罪
20. 暴走族等若者による暴走行為
21. 暴力団による犯罪
22. 外国人による犯罪
23. 少年による暴力的犯罪
24. その他（具体的に)

問 20 富山県内の犯罪の認知件数は 10 年前に比べて大幅に減少(H19 は 10,648 件、H29 は 5,330 件)していますが、今後更に犯罪を減らすためには、どうすればよいと思いますか。次の中から特に重要と思われるものを3つ以内で選んでください。

1. 繁華街や商店街、道路、公園等に防犯カメラを設置するなど、犯罪抑止に配慮したまちづくりを推進する
2. 高齢者宅を訪問して防犯指導を実施する
3. 警察官によるパトロール活動を強化する
4. 警察が犯罪発生状況(罪種、場所、時間等)について積極的に情報提供する
5. 警察等が防犯教室や防犯診断等を実施し、防犯上の留意点を県民に知らせる
6. 地域住民が、民間パトロール隊など地域ぐるみの防犯ボランティア活動に力を入れる
7. 地域住民自身が、地域毎の防犯の会合や行事に参加して安全なまちづくりを推進する
8. 住民一人ひとりが、被害に遭わないようカギかけを習慣づける
9. 県・市町村が主体となり犯罪抑止に取り組む
10. 学校等が、子どもが犯罪に遭わないための防犯教室を推進する
11. 防犯性能の高い住宅等の普及に努める
12. 犯罪を犯した者に対する刑罰を厳しくする
13. その他(具体的に)

【最後に、あなたの意識についてお聞きします】

問 21 次の設問について、あなたが普段どのように感じられたり、どのように思ったりされているかお聞かせください。

(1) あなたは、富山県は住みよい県だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に住みよい
2. まあまあ住みよい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

(2) これからも富山県に住みたいと思われませんか。次の中から1つ選んでください。(通学、転勤等により県外に転出される予定がある方についても、ご自身の意識としてお答えください。)

1. これからも富山県に住みたいと思う
2. 県外に転出したいと思う
3. わからない

(3) 仕事をなさっている方にお聞きします。あなたは、仕事に充実感（満足感）を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に充実している
2. まあまあ充実している
3. どちらともいえない
4. あまり充実していない
5. まったく充実していない

(4) あなたは、自分の今の健康状態をどのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 健康である
2. どちらかといえば健康である
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば健康でない
5. 健康でない

(10) あなたは、過去1年間に、生涯学習※を行ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. ある
2. ない

※ 生涯学習とは、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

(11) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していないが、今後は参加したい
4. 参加していないし、今後も参加したくない

(12) あなたが住んでいる地域の景観をどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 美しいと思う
2. どちらともいえない
3. 美しいと思わない

